

むさしNet

(発行)

*働きやすい職場をめざす

(連絡先) ルネサス武蔵の会

*東村山市恩多町3-11-18 谷口利男

*電話・FAX ; 042-394-0937

*メール; musashinet@jcom.home.ne.jp

*要望・意見を気軽にお寄せ下さい。

賃金減給分を戻すなど改善が急務!

15春闘、製造業平均で8630円増!

日本経団連は4月16日、15年春闘の第1回賃金回答集計結果(加重平均)を発表した。

調査対象は、原則として東証一部上場、従業員500人以上の主要20業種大手249社で、今回はこれまでに回答があった企業のうち詳細が確認できた62社についてまとめた。

それによると、大手企業の定期昇給を含めた平均賃上げ額は前年比859円増の8502円となり、94年(8800円)以来、21年ぶり

の高水準となった。アップ率は259%で、前年(2.3%)と比べて

0.25ポイント上昇した。製造業の平均は、賃上げ額が同928円増の8630円、アップ率が同0.26ポイント増となった。

商法附則5条の協議が始まる

第1回目の「5条協議」は、4月2日に開催され、ルネサス側から関連各社を含む8人の参加、労働者側は5人の申出と弁護士を含ま

む代理人4人の9人が参加して行われ、継続して協議することが確認されました。

協議の中では、自らの要求を伝え、疑問や不安な事を問い質すことが事が出来ます。協議には法律で裁判と同様に代理人を立てて行えますので、「協議」に関しては、下記の電機・情報ユニオンにお気軽にお尋ねや相談して下さい。

労働条件の改善 適正人員を求める

職場では「今回のRSDやREGへの大量転籍は人件費の削減を狙ったものだ」との声が多く出されています。

作田会長CEOは、決算の発表時に「とにかく身を削って生き残ることに全力を尽くしてきた。次は勝ち残りにむけたギアチェンジが必要だ」と語ったとマスコミ報道されています。

厚労・経産省との省庁交渉

3月30日(月)全労連、東京地評と電機・情報ユニオンが共同して、厚労省と経産省に地域経済と雇用を守る要請行動を展開しました。

・省庁交渉では、ルネサス武蔵と高崎事業所、日立超Lの現職から「転籍強要、パワハラ面談、降格と減給」問題を具体的に告発し解決を迫りました。対応した両省の担当者は「持ち帰って庁内で共有します」と回答し、翌日から調査を行ない具体的な動きが出ており、その後の「5条協議」「団交」「職場内の動向」に反映されています。

今まで職場では経営が苦しいのと言われ減給などを受けてきたが現状です。今後、異常なほど疲弊している職場労働者に配慮した労働条件の改善と適正な人員の確保が強く求められています。

困ったこと心配ごとの相談は、**電機・情報ユニオンへ**
電話 ; 03-6450-1777
<http://www.denki-joho.jp/>

2015年3月期決算 空前の利益を計上!

12日に発表されたルネサスの2015年3月期の連結最終損益は823億円の黒字。前期の52億円の赤字から黒字に転換。売上高は前の期比5%減の7910億円、営業利益は同54%増の1044億円となっています。

16年3月期通期の業績見通しは開示せず、15年4~6月の連結業績予想の開示にとどめ、同期間の純利益は前年同期比6%増の200億円の黒字、売上高は同14%減の1800億円としました。

| | 13年3月期 | 14年3月期 | 15年3月期 | 前期比 |
|------|--------|--------|--------|------|
| 売上高 | 7,858 | 8,330 | 7,910 | -420 |
| 営業利益 | -232 | 676 | 1,044 | 368 |
| 純利益 | -1,676 | -52 | 823 | 875 |

玉川で解散「盆踊り」

ルネサスエレクトロニクス発足時には、最大の拠点として4千名以上が勤務していた玉川事業所が、この6月ついに閉鎖となります。現在まで残った社員のほとんどは、すでに武蔵や高崎や那珂などに異動し、多くが単身赴任や遠距離通勤を余儀なくされています。育児や介護など、様々な理由で転勤できずに退職に追い込まれた方も多数います。旧三菱電機的设计拠点で同じく閉鎖となる北伊丹事業所では、労組が反対の意思表示を行いました。こちら玉川ではそういったことは一切無く、代わりに労組の支部解散記念に「学園祭」を開催し、AKB48の恋するフォーチュンクッキーをみんなで踊ってフィナーレとなりました。春の「盆踊り」に果たしてみんなの心は癒されたのでしょうか。(投稿)



12月24日、武蔵事業所での早朝宣伝行動

違法な高崎異動を是正し武蔵に戻る

解雇通告で強行!

厚労省で記者会見!
 高崎転勤後も、東京労働局への「介護休業法」での配慮を求める要請や参議院の厚生

昨年(2014)の早期退職強要面談のなかで「退職が高崎への転勤」かの選択を迫られ、子供さんがおり「介護休業法」による転勤での配慮義務を実施もせず、高崎転勤に応じなければ解雇するとして本人に解雇予告書を手渡す暴挙となったので異議を唱えて転勤しました。

労働局も文書助言

労働委員会での日本共産党小池議員の論戦で行政指導を求める取り組みを展開。厚生労働省での記者会見の実施やルネサスの事業所宣伝行動などを取り組んできました。

労働契約承継法でのRELからREGへの転籍を本人の同意なしに実施させてきた事に対して東京労働局に申し出、出向中の社員を子会社に転籍させる場合の扱いに関して「留意してください」との文書助言が出され、4月2日に実施された「5条協議」の場でも論議となりました。

武蔵復帰して良かった

こうした経緯を経て、最初に4月13日(月)に武蔵事業所への復帰、続いて5月18日(月)に復帰する事が出来ました。

主婦として、ご主人も単身赴任されている厳しい状況の中での往復5時間を超える過酷な新幹線通勤と「自家用車での通勤から解放され」「元の職場に戻れて本当につれい」と語っています。

休憩室

◆「オスプレイ」

横田基地に配備
 地元自治体も抗議

◆「戦争する国へ」

「戦争立法」閣議決定
 大きな世論で阻止を

◆「ドローン」

無見識な事件で
 一気に統制強化になる

◆「ネパール地震」

他人事でない
 日本でも異常現象が

絵手紙でご挨拶



編集後記

2010年4月に設立されたルネサスエレクトロニクスは、設立時に約4万8000人でスタートし、それからの5年間は、人減らしリストラの連続で56%も減少した2万1000人の社員数となってしまいました。職場内では、人員減で超多忙になっており、降格と減給の連続でモチベーションが低下しているとの訴えが届いています。半導体事業を展開できる経営者を求めていることは当然の帰結と言えます。(T)